

化学療法レジメンセット 登録用紙

コード : N-22

レジメン名称 : CBDCA+PEM

適応がん種 : 非小細胞肺癌

インターバル日数 : 21日

予定コース数 : 4~6コース

医 長 名 : 呼吸器内科 田村 厚久

申請医師名 : 呼吸器内科 田村 厚久

確認薬剤師名 : 薬務主任 植木 大介

Rp.No.	癌	薬剤名	投与量	手技	投与経路	点滴時間・速度	day(1)
1		デキサート注(デキサメタゾンとして)	6.6mg	点滴静注	末梢メイン	15分	Rp1 15分 DEX6.6mg +パロノセトロンバイアル +アロカリスバイアル +生理食塩液50mL ↓ Rp2 10分 ペムトレキセド注 生理食塩液100mL ↓ Rp3 1時間 カルボプラチン点滴静注 生理食塩液250mL ↓ Rp4 5分 生理食塩液50mL
		パロノセトロンバイアル0.75mg	1V				
		アロカリスバイアル235mg	1V				
		生理食塩液50mL	1本				
2	*	ペムトレキセド注射用	500mg/m ²	点滴静注	末梢メイン	10分	
		生理食塩液100mL	1本				
3	*	カルボプラチン点滴静注	AUC5	点滴静注	末梢メイン	1時間	
		生理食塩液250mL	1本				
4		生理食塩液50mL	1本	点滴静注	末梢メイン	5分	

上記表にて設定する抗がん剤について

Rp.No.	薬剤名	設定値	上限値
2	ペムトレキセド注射用	500mg/m ²	
3	カルボプラチン点滴静注	AUC5	750mg/day

<特記事項>
①ペムトレキセド使用レジメンのため、治療開始7日前よりパンビタン、フレズミンを使用する。その後パンビタンは連日内服、フレズミンは9週毎に投与する。ペムトレキセド最終投与後、3週間は投与する。
②ペムトレキセドによる皮疹が懸念される場合は、投与前日～投与翌日までの3日間デキサメタゾン錠4mg×2回/日の内服が推奨される。
③カルボプラチン点滴静注の最大投与量は750mg/dayまでとする